

2015年度法人決算について：事業活動計算書による

当年度、「ハピパール建設事業」は土地買収から始まり、建物の資金を公益財団法人JKA様に補助金申請してはいたがかないませんでした。今後は福祉医療機構様に借入れを申請して進める予定です。

サービス活動収益では前年度対比約+292万となりました。放課後等デイサービス、ほまれの里は前年度に比べ利用率が下がり、はびきの園では、就労移行事業の定員を大きく下回ったことが減収となりました。定員を増やしたグループホームが支えた状況となっています。

サービス活動支出では前年度比人件費+1584万、事務費+498万となっており、人件費では今年度より賞与引当金の設定をしたこと、時給職員の時給アップ、人材交付金の倍増等が増えた要因です。事務費は修繕費増と法人創立20周年記念事業費が要因です。

「ハピパール建設」に必要な資金は現在積立金の取崩、寄付金で賄っており、今後は借入金と寄付金、不足は積立金の取崩で行う予定です。

就労支援事業については、今年もマイナスとなり事業活動増減差額は▲105万となりました。前年度比約▲6.6万ですが今年度より消費税約26万を負担しています。

当期活動増減差額は約857万となりました。前年度対比約▲1787万です。

積立金は700万を積み立てました。

2016年度の課題としては「ハピパール建設」を計画通り推進することが第一の課題です。早ければ2017年初頭の開所をめざして、事業内容の確定や利用者の募集、事業内容のカフェの訓練等も急がれます。

就労支援事業の売上増、就労移行事業の定員確保は喫緊の課題です。

法人の理念“かがやく命を大切に作る社会をつくります”を基本に、利用者が楽しく元気に過ごせるよう施設整備を行い、人材育成にも力を注いでいきます。